



# 近藤敬宏さん(37)

日立製作所野球部トレーナー

## profile こんどう・たかひろ

1987年 土居町津根生まれ  
茨城県日立市在住  
長津小→土居中→三島高校(野球部)→朝日医療専門学校(現・朝日医療大学)  
2009年 岡山県倉敷市の整骨院に就職。退職後、三菱自動車や東京ガス、東邦ガスの野球部を経て、2022年から日立製作所野球部のトレーナーを務める。  
2024年「侍ジャパン」社会人代表チームのトレーナーとして「第5回WBSC U-23ワールドカップ」に出場。大会連覇に貢献する。



### 命を守る仕事

「トレーナーの役割」と聞いてまず思い浮かぶのは、選手の健康管理やトレーニング指導だと思えます。これらは確かに役割の中心的なものですが、最も重要かつトレーナーの使命とも言えるのは、「選手の命を守る」ことです。スポーツにケガはつきものですが、ボールが頭部に直撃するような事故は、選手生命だけでなく命に関わります。トレーナーは常に

### 鍼灸師からトレーナーへ

あらかゆる事態を想定し、何かが起きたときにいち早く選手の元に駆け付け、適切な処置を施さなければなりません。ベンチにいても、試合よりも選手の動きを見ているので、ある意味、「野球好きじゃない人」の方が向いている職業かもしれません(笑)。

最初に目指したのは鍼灸師でした。きっかけは、中学生の時に経

### 世界一に貢献

験した腰の故障です。鍼灸院でリハビリを続けるうちに、身体面で選手を支える仕事に興味を持ちました。高校卒業後は、岡山県にある専門学校に進学し、鍼灸師と柔道整復師の資格を取得。倉敷市に本店を置く整骨院に就職し、3年目には新規店舗の院長を任せました。

ある時、インターシップ先の社会人野球部で「トレーナー」という仕事を経験し、「これがしたい」と強く思いました。就職先も

### 世界一に貢献

決まらずに5年間勤めた整骨院を退職し、野球部時代のツテを使ってトレーナーの世界に飛び込みました。いくつかの社会人野球部で経験を積み、現在は、茨城県日立市にある日立製作所野球部で30人の選手を見ています。

2023年BFAアジア選手権大会、そして昨年のWBSC U-23ワールドカップで、日本代表の

### 業界を発展させる

トレーナーに選出されました。各チームから招集された選手たちと、限られた時間の中で信頼関係を築き、一人ひとりの体質や動きの癖を見極め、パフォーマンスを最大限に引き出すことは、とてもやりがいのある仕事でした。優勝という結果に貢献できたことは、私のトレーナー人生の誇りです。

残念ながら、日本の野球界にお

### 世界一に貢献

けるトレーナーの地位は海外と比べて高いとは言えず、まだまだ発展途上です。引き続き、トレーナーとして経験を積みながら後進の育成にも取り組み、日本のトレーナー業界を盛り上げていきたいと考えています。

そして、トレーナーとして培った経験や人脈を活かし、故郷・四国中央市で野球教室を開催したいです。野球選手を目指す子どもたちの夢を叶えるお手伝いができれば嬉しいです。



WBSC U-23W杯で優勝し、全日本野球協会の山中正竹会長と記念撮影する近藤さん

撮影 紹興野球ソフトボールスポーツ文化センター (中国浙江省紹興市)